

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします



かみ

## 神さまがくださった

つよ ひと

## 強い人、サムソン



ぶん

文: Edward Hughes

え

絵: Janie Forest; Alastair Paterson

かいさくしゃ

改作者: Lyn Doerksen

ほんやくしゃ

翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅつぱんしゃ

出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

BFC

PO Box 3

Winnipeg, MB R3C 2G1

Canada

©2021 Bible for Children, Inc.

きよか  
許可:

たにん う  
他人に売らない限り

かぎ

はなし  
このお話のコピー、

また

きよか

又はプリントは、許可されています。

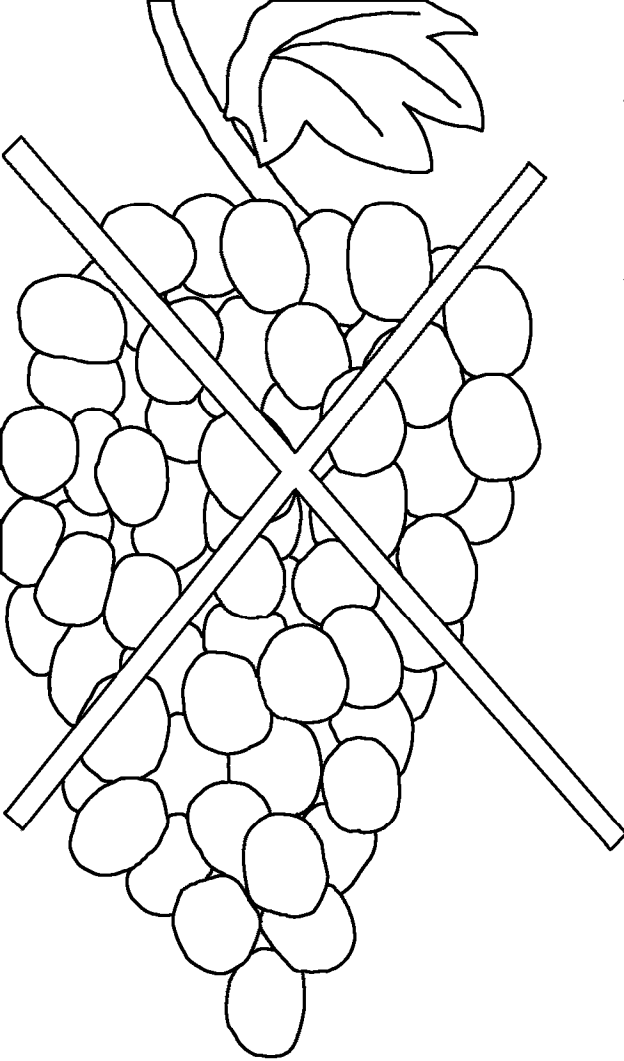


むかし ち ひと す  
ずっとずっと昔、イスラエルの地にマノアという人が住んでいました。マノア  
とおくさんには、こどもがありません。でもある日のこと、マノアのおくさんの  
しゅ つか ひ  
ところに、主からの使いがあらわれました。そしてこう言いま  
あか う こ  
したよ。「あなたに赤ちゃんが生まれるでしょう。その子は、  
かみ あか  
神さまがくださるとくべつの赤ちゃんですよ。」

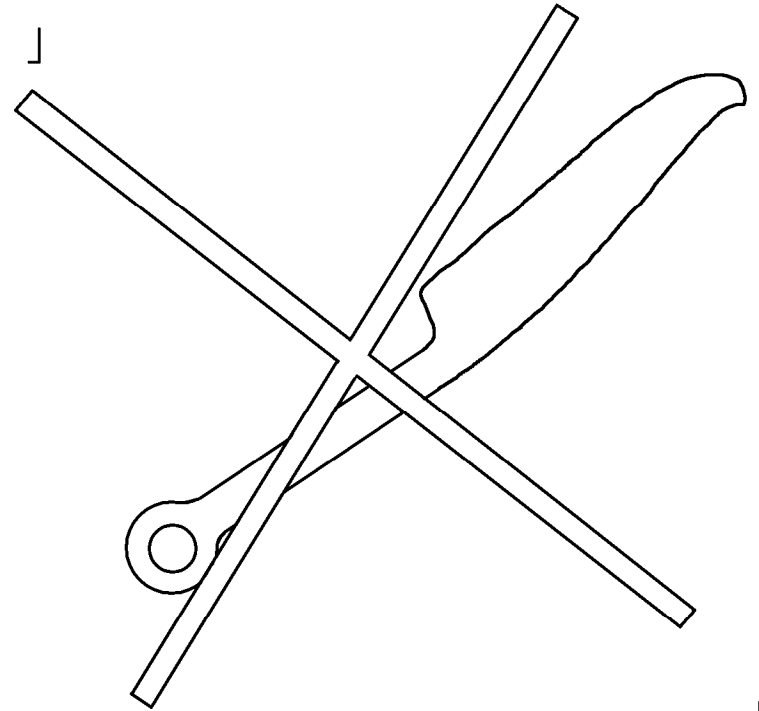


「素晴らしいニュースがあるのよ。」かの女は <sup>じよ</sup> すぐに <sup>おっと</sup> 夫マノアのところへ  
行<sup>い</sup>って、このことをつたえ<sup>き</sup>ました。それを聞<sup>い</sup>いたマノアは祈<sup>き</sup>りました。「ああ、  
わたしの主<sup>しゅ</sup>よ・・・。どうぞ、私<sup>わたし</sup>たちのところへ、もういちど来<sup>き</sup>てください。  
そして、おし<sup>う</sup>えてください。生まれ<sup>こ</sup>てくる子にどんなことをすればいいのです  
か。」





そこで、天使はまたあらわれてマノアにこう言いましたよ。「その子は、決してかみの毛を切ってはならない。決してお酒をのんではならない。そして決して神さまが言われたもの以外は食べてはならない。神さまは、この子をイスラエルのしどう者として、そしてわるい人をさばくものとして、えられたのです。」





このころ、<sup>かみ</sup>神さまの<sup>たみ</sup>民  
イスラエルの人々は、ほんとうに  
<sup>すく</sup>

だれかに救ってもらわなければ、どう  
しょうもなかったのです。なぜってかれらは  
<sup>かみ</sup>

もうすっかり神さまからはなれていたのですからね。

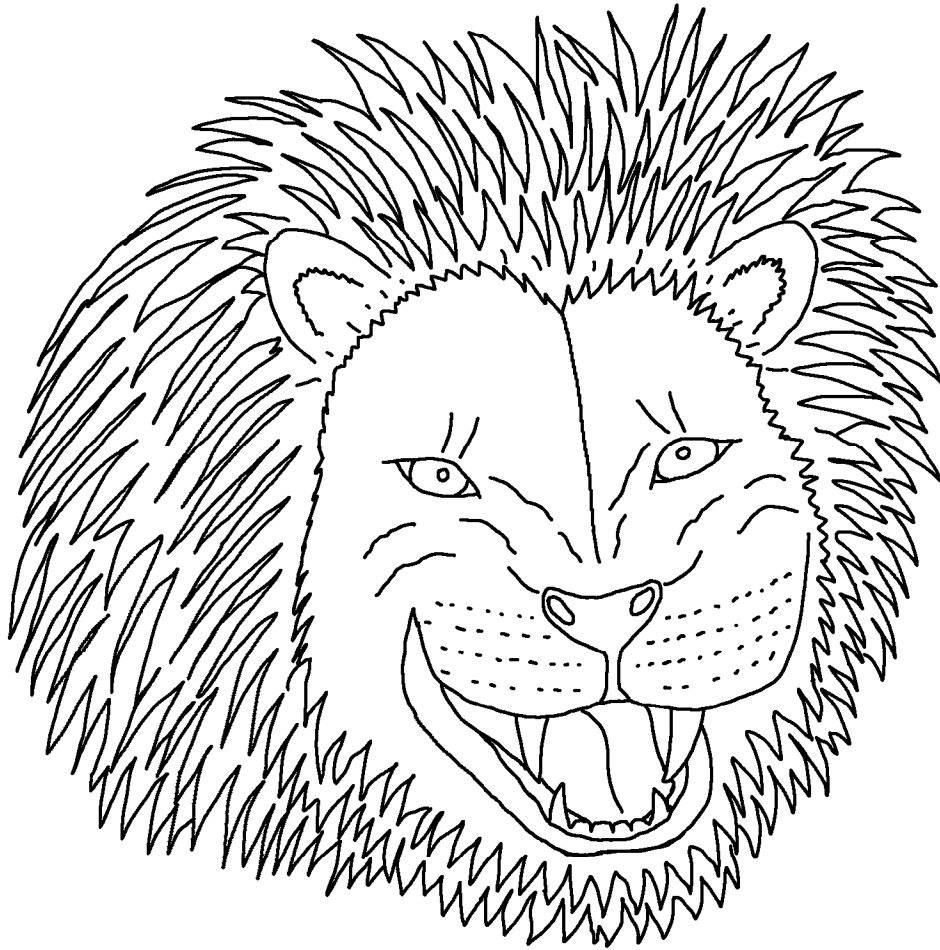
それにまた <sup>てき</sup>かれらの<sup>じん</sup>敵ペリシテ人からも、いじめられていたのです。でもね、

<sup>かみ</sup>かれらが<sup>いの</sup>神さまにお祈りしたら、<sup>かみ</sup>神さまは、ちゃんと聞いてくださいました。<sup>き</sup>

そして、<sup>あか</sup>赤ちゃんを<sup>かみ</sup>くださったのです。神さまは「その子は<sup>こ</sup>この世で<sup>よ</sup>いち

<sup>つよ</sup>ばん<sup>ひと</sup>強い人になるだろう。」と言われましたよ。





さて、しばらくして、マノアのお  
おとこ こ う  
くさんは男の子を生みました。  
こ なまえ かみ  
その子の名前は、サムソン。神さ  
しゆく  
まは、サムソンを祝ふくしてく  
おお  
ださり、すくすくと大きくなりま  
せい  
した。また、サムソンに聖れいの  
ちから つよ  
力がはたらいてほんとうに強  
なっていました。ある日のこ  
なに も  
と、サムソンは何も持たないで、  
じぶん て つか  
自分の手だけを使って、わかいラ  
イオンとたたかったのです。そし  
つよ  
て……。なんて強いのでしょ  
う。とうとうそのライオンをころ  
してしまったのです。





そのあと、サム  
ソンは、死んでしま  
ったライオンのところ  
に、たくさんのミツバチが集まっている  
のを見つめました。ライオンのからだに巣を作っ  
ていたのですね。ちょっとそのハチミツをなめてみる  
と、まあ そのミツのおいしいこと！ そこでサムソンは、  
人々になぞなぞを出しました。「食べる者から、なにか食べもの  
が出た。つよいものから、なにか甘いものが出た。さあ、みんな、  
これがどういう意味か わかりますか。」





だれも、その意味いみがわかる人ひとなんていません。  
でも、サムソンがけっこんしたペリシテ人じんの新しいあた  
おくさんは、サムソンからこたえきを聞き出し、友だちだになぞとも  
なぞの意味いみをおしえてしまったのです。それを知しったサムソン、  
ほんとうおこに怒りましたよ。



でもね、そのあとでサムソンをもっともっと怒らせたことがあるのです。それ  
は、ペリシテ人たちが、かつてにサムソンのおくさんを、かれの一ばんのなかよ  
しの友だちにあげてしまったことです。サムソンは、仕返しをしようと思いまし  
た。でも、どうやって？　そこでまずサムソンは300匹ものキツネをつかまえ  
ました。それから、つぎつぎにキツネとキツネのしっぽをむすんでいきました

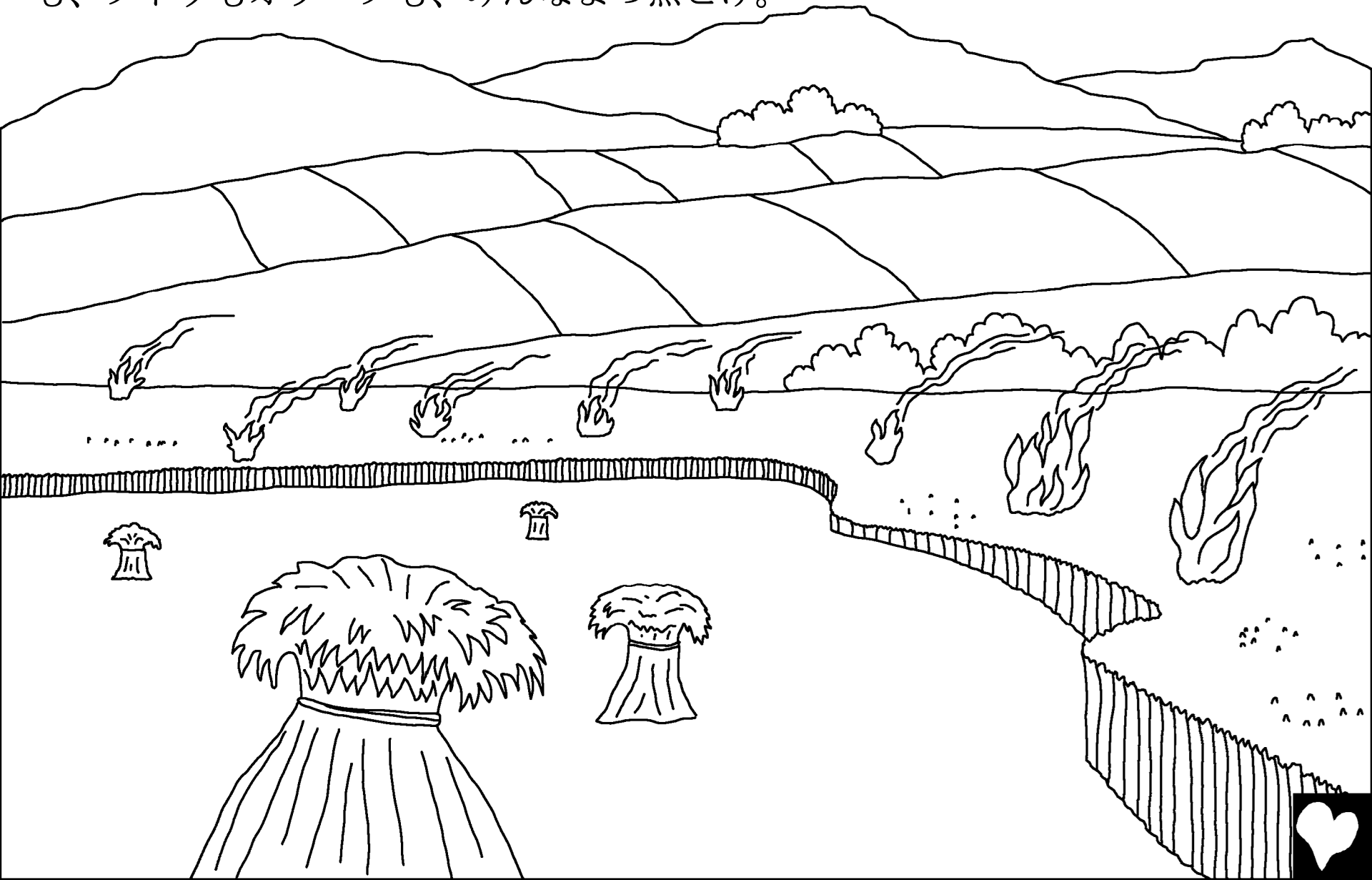
よ。2匹ずつね。そして、  
むすんだしっぽのあい  
だに、火をつけたタイ  
マツをとりつけました。  
サムソンは、いったい  
どうするつもりなので  
しょうね。



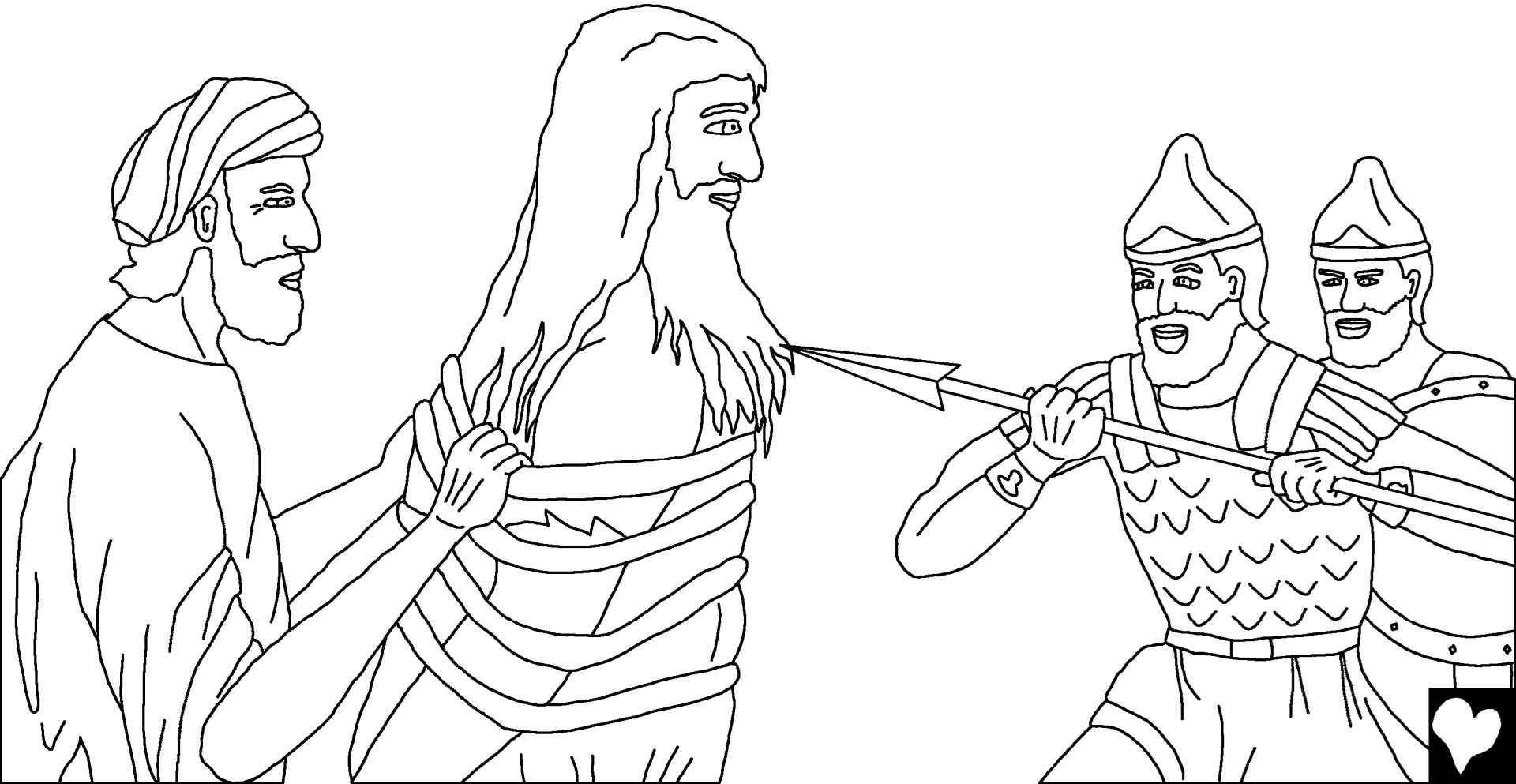
はたけ はな

はたけ

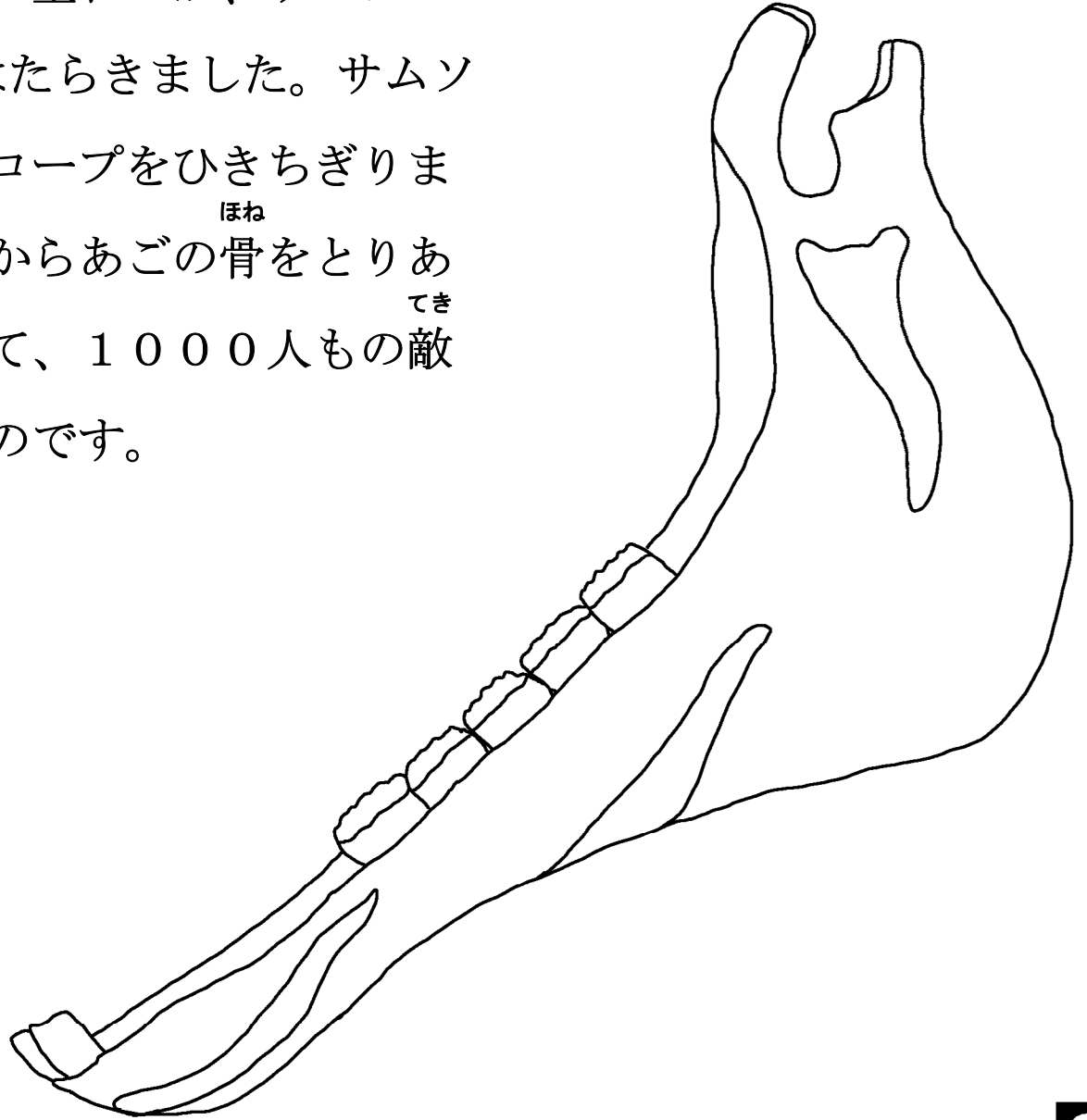
サムソンは、そのキツネたちをペリシテ人の畑に放したのです。畑のムギも、ブドウもオリーブも、みんなまっ黒こげ。



こんどは、ペリシテ人が仕返しをする番です。でもサムソンは、自分でペリシテ  
人のところへ、出て行ったのです。かれは、かれらにつかまえられ、手をしばら  
れ、そしてひきわたされて殺されることがわかっていたのですけれど。



そのときです。また主しゆからの聖せいれいが、サムソンのところちからづよにきて、力強ちからづよくはたらきました。サムソンは、しばられていた手てのロープをひきちぎりましたよ。そして死しんだロバからあごほねの骨をとりあげました。その骨ほねをつかてきって、1000人もの敵てきを、ぜんぶ殺ころしてしまったのです。



そのあと、ペリシテ人のなかまたちは、  
サムソンはいったいどこにいるんだろうと、あちこちさがしまわりました。

ある夜の<sup>よる</sup>こと、サムソンが<sup>まち</sup>町にいることを知<sup>し</sup>ったかれらは、  
かれにわなをしかけて、つかまえようとしました。



まち で

まち もん

サムソンが町から出れないように、町の門にカギをかけてしまったのです。

へいき

ところが、サムソンはそんなことされても、平気です。

おお まち もん

かた

そのものすごく大きな町の門をひょいと肩にのせて、

まち で

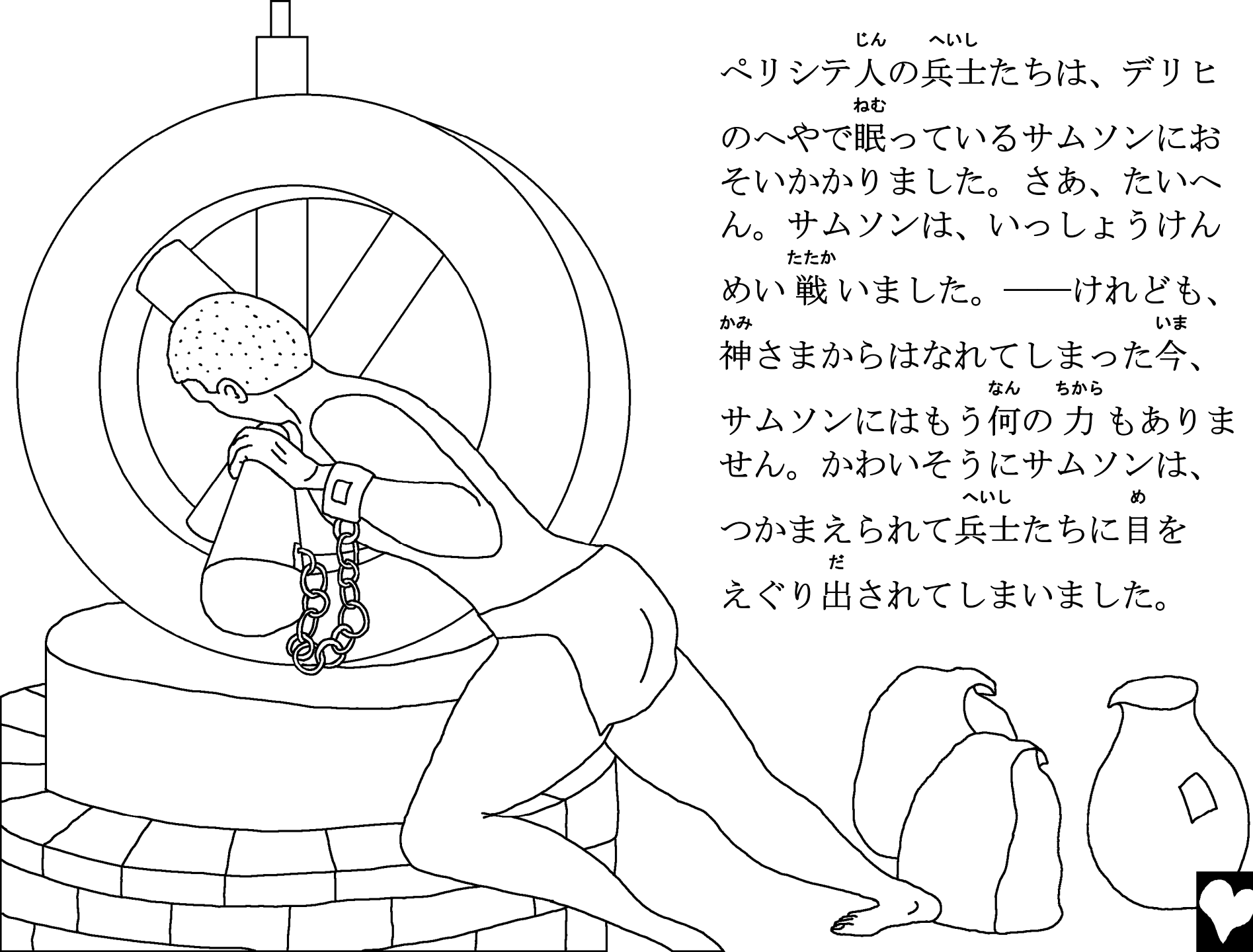
さっさと町から出ていきました。



でも、ここでサムソンは、神さまのめいれいにしたがいませんでした。神さま  
は、サムソンが自分にしたがっているかぎりには、力を与え、いつも助けようと  
思われていたのですけれどね。ある日、サムソンは、

かれがどうしてこんなに強いのかというひみつを、  
デリヒというペリシテ人のうつくしいスパイに話  
してしまったのです。サムソンのひみつを聞いた  
デリヒ、さっそくある人にか  
れのかみの毛を切りおとすよ  
うに言いましたよ。もちろん、  
サムソンが眠っているう  
ちにね。





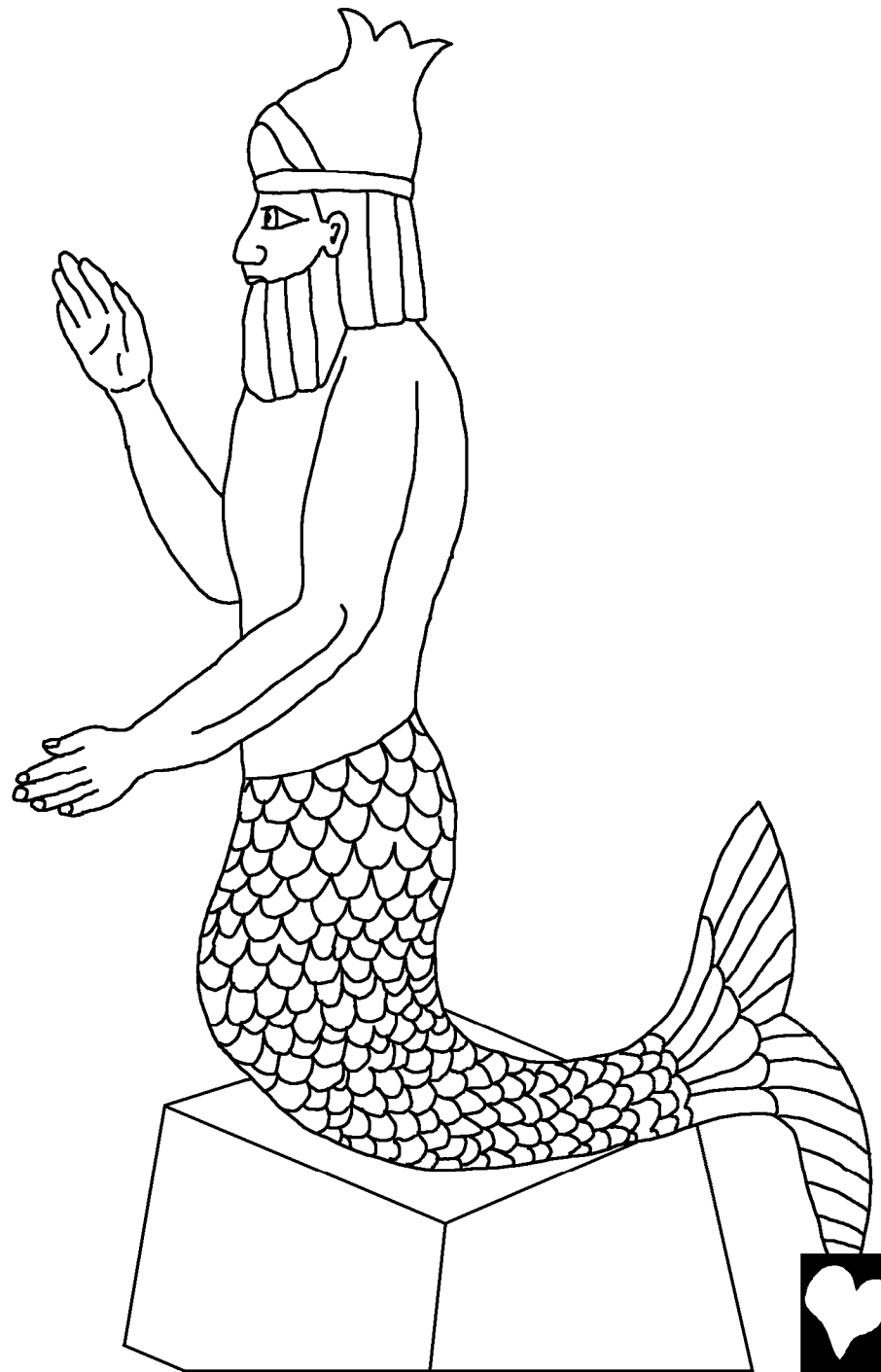
じん へいし  
ペリシテ人の兵士たちは、デリヒ  
ねむ  
のへやで眠っているサムソンにお  
そいかかりました。さあ、たいへ  
ん。サムソンは、いっしょうけん  
たたか  
めい戦いました。——けれども、  
かみ いま  
神さまからはなれてしまった今、  
なん ちから  
サムソンにはもう何の力もありま  
せん。かわいそうにサムソンは、  
へいし め  
つかまえられて兵士たちに目を  
だ  
えぐり出されてしまいました。





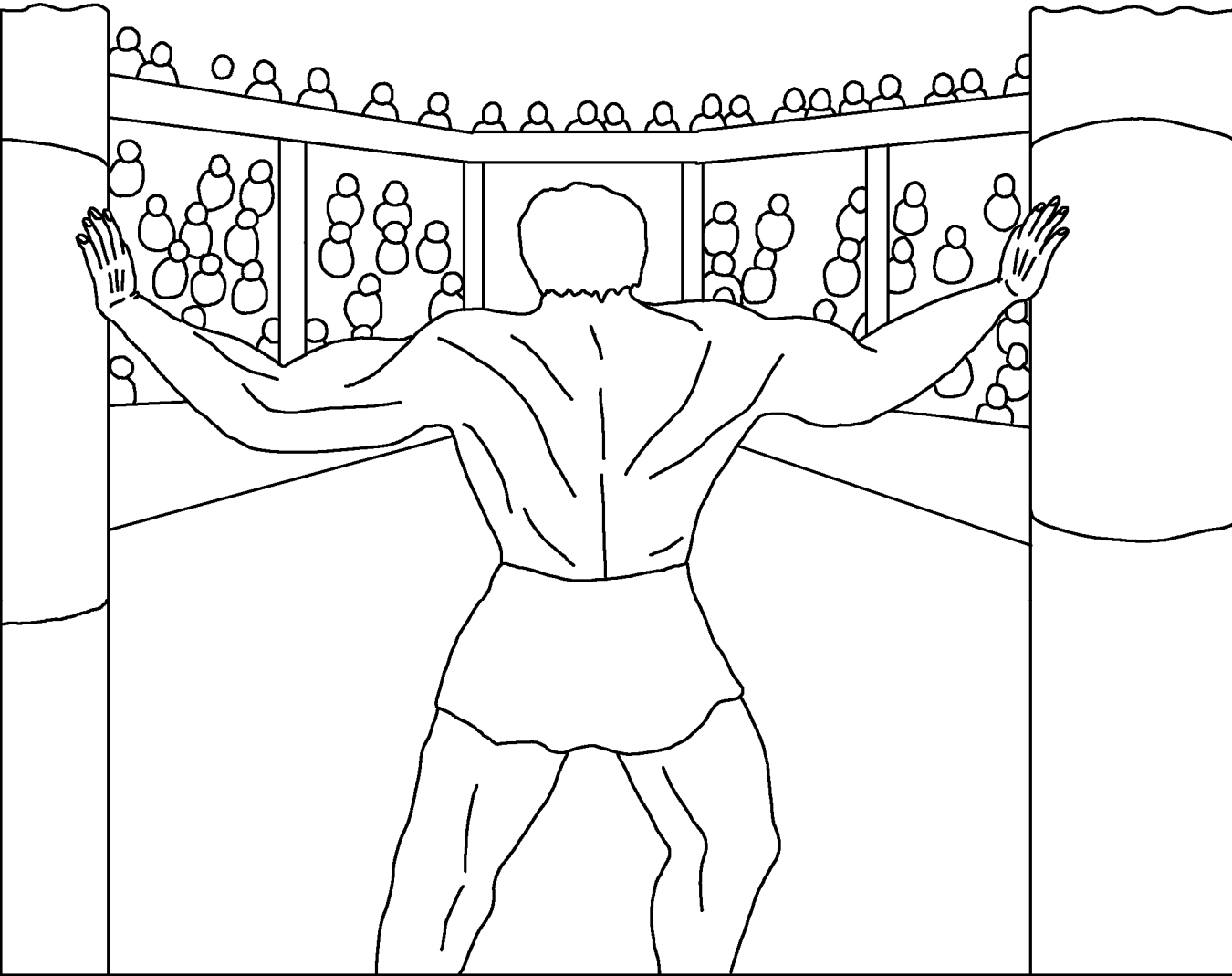
め み  
目が見えなくなってい、すっ  
よわ  
かり弱りはてたサムソンは、いま  
じん  
やペリシテ人のどれいなのです。  
じん み  
ペリシテ人たちは、かれを見て、  
ばかにしてわらいました。「あい  
かみ つか もの  
つがね、もと神に仕える者だった  
とはね。」

じん あつ いわ  
ペリシテ人たちは、みんな集まりお祝  
た  
いのごちそうを食べましたよ。また、  
じぶん  
かれらは自分たちがやっとサムソンを  
つかまえることができたとよろこび、  
さかな かみ  
かれらの魚の神、ダゴンをあがめたた  
てら  
えました。そしてダゴンの寺で、お  
の い  
いに飲んで、よろこんでこう言いま  
した。「そうだ！サムソンをここへつれ  
み  
てきて、見せものにしようじゃない  
か。」



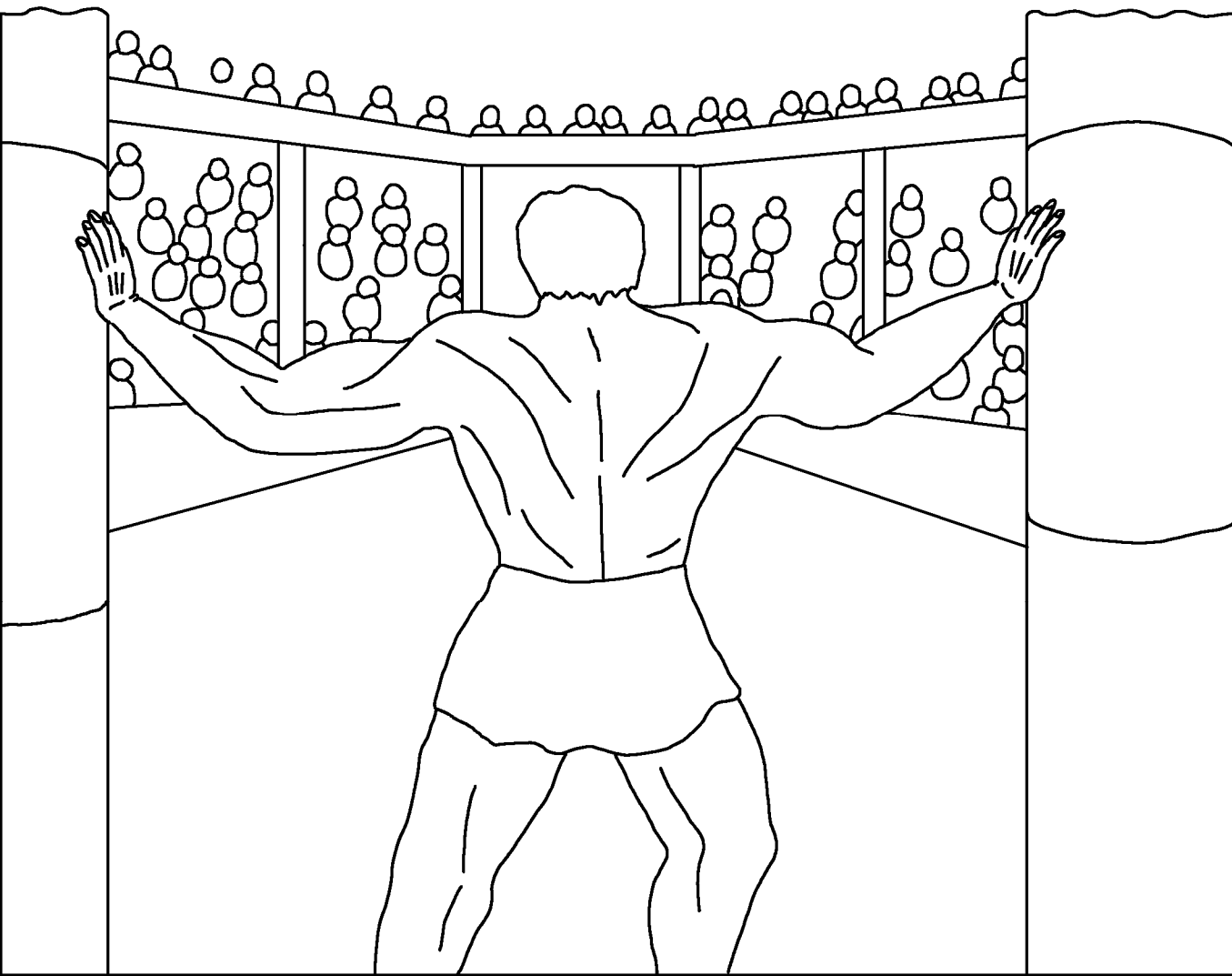
しょうねん  
ひとりの少年が、サムソンをつれてきましたよ。そして、寺をささえている  
はしら  
柱に、サムソンをもたれさせました。その寺には、3000人ものペリシテ人  
やね  
が屋根の上に、そしてもっと多くの人たちが、寺の中てらになかいました。「あいつが、  
おお  
ひと

てら  
つよ  
あの強いサムソン  
だってよ。」こう  
い  
言ってみんなわらい  
ました。



ところが、ろうやなかの中なかにいるうちに、サムソンのかみの毛けがまた伸びはじめのていたのです。ここで、かれは心こころからいのりしゅしました。「ああ、主よ、いま1度だけいちどでけっこうです。どうぞ、わたしにあなたちからの力をください。わたしを、つよく

してください。かれらに、えぐりとられてしまったわたしのふた 2つの目の仕返しめがしかえできますように。」



みなさん、神さまはサムソンにもう1度、力をあたえられると思いますか。

仕返しなど、目も見えないサムソンには、できそうもないことですよ。でも、

そう、そうなのです。力いっぱい引っぱって、持ち上げて、サムソンはそのものすごく

大きな柱をバラバラにしてしまった

のです。ダゴンの寺は大きい大きい

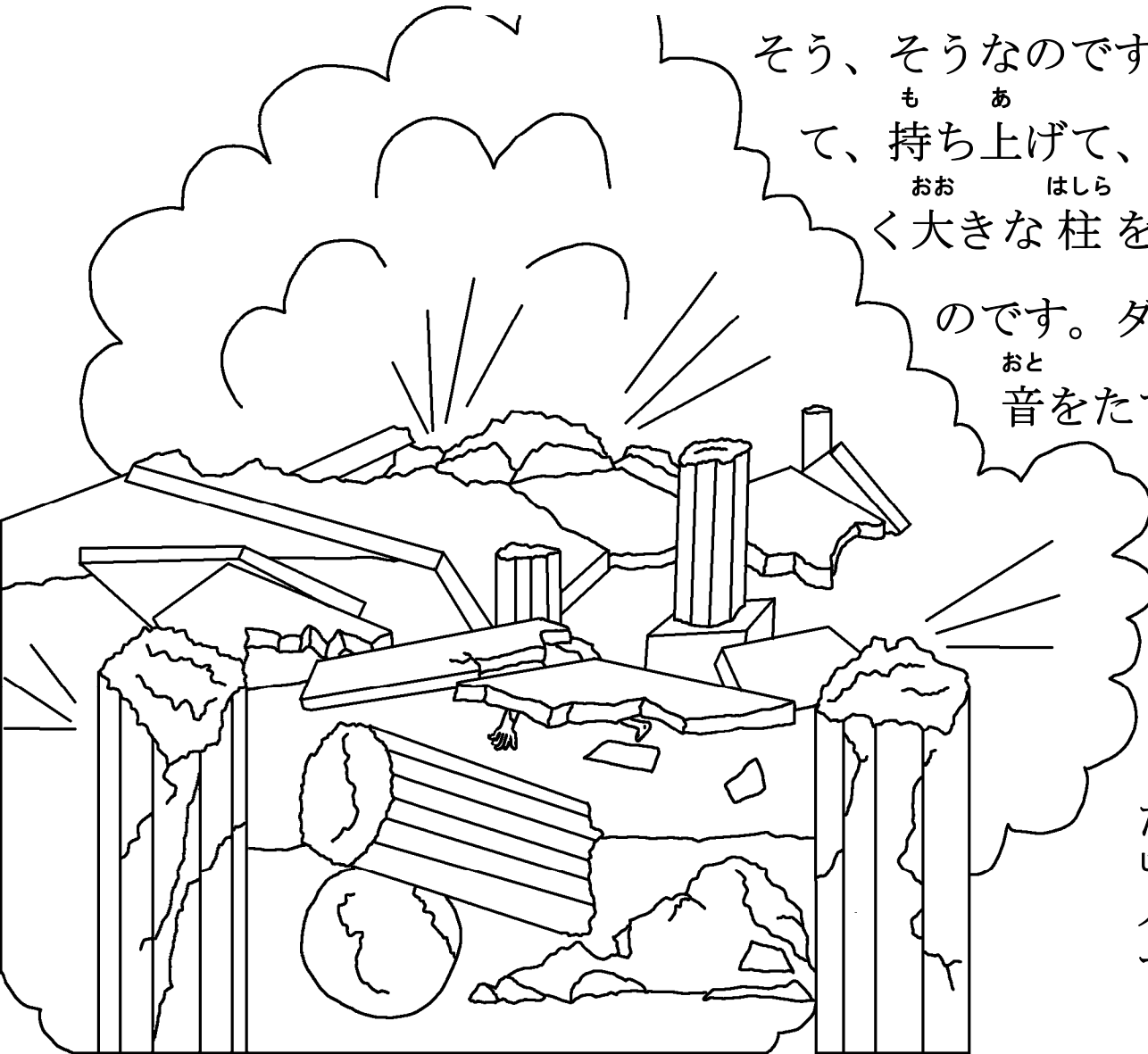
音をたてて、みるみるうちにくずれていきました。そして、

そこにいた人たちみんな、ダゴンの寺といっ

しょに死んでしまいました。

何千人ものペリシテ

人が……。そして、サムソンも……。



かみ つよ ひと  
神さまがくださった強い人、サムソン

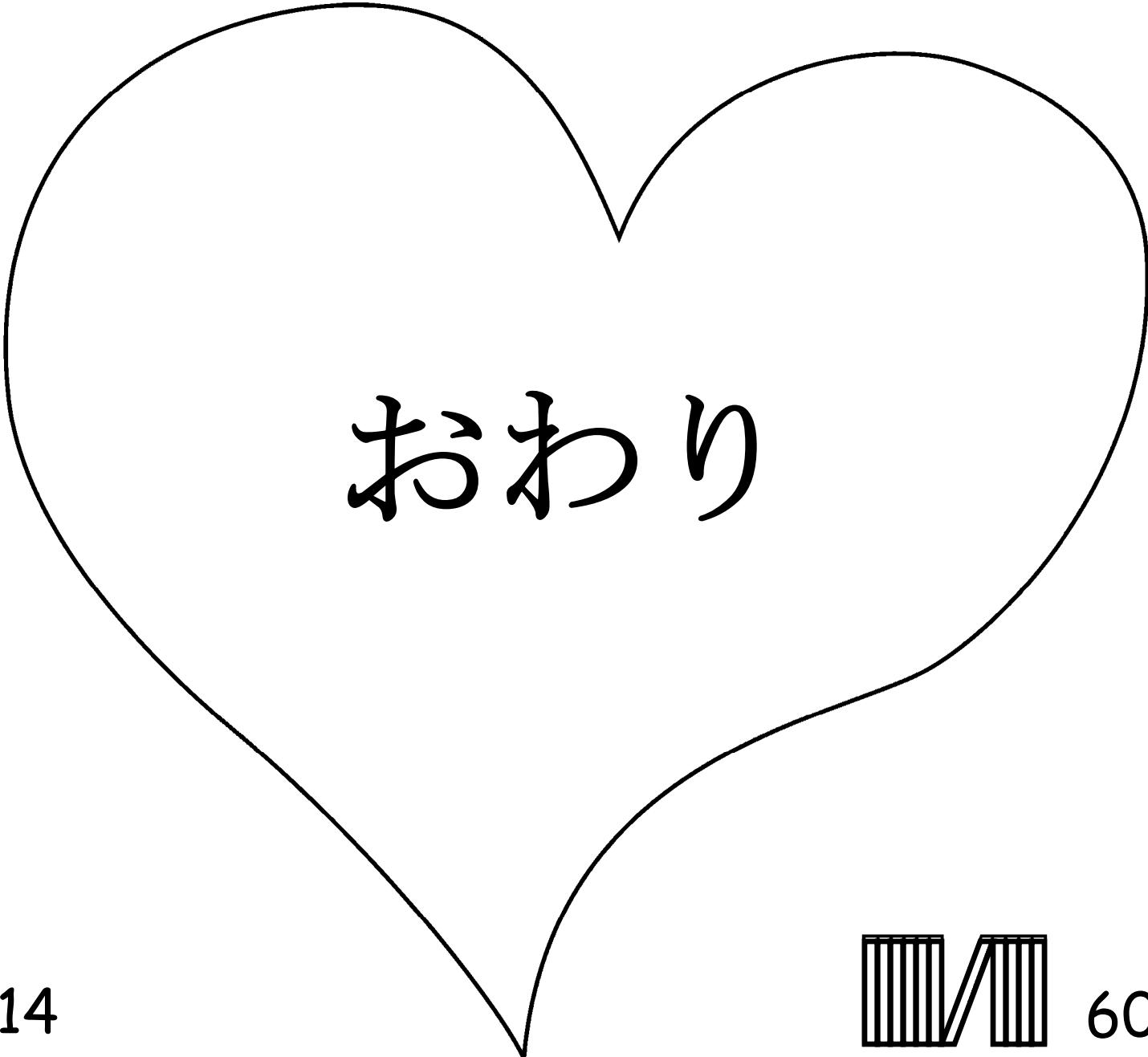
かみ み せいしょ しる  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

し しき しょう しょう  
士師記 13 章 - 16 章

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130





おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っていらっしゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっしゃいます。それを、神さま  
は、罪つみとよばれています。その罪つみのむくいは、死しです。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをとも愛していらっしゃいますので、ただ一人のみ子イエスさまを、こ  
よ おく つみ じゅうじかじょう な  
の世よに送おくってくださいました。そしてあなたつみの罪つみのために、十字架じゅうじかじょう上なで亡なくなられたのです。けれども  
それから、イエスさまはよみがえられ、天国てんごくのいえへ、もどられたのです。もし、あなたがイエスさ  
まを信しんじ、ゆるしてくださいとおねがいするなら、イエスさまは、ゆるしてくださいます！イエスさま  
いま ところ き なか す  
は、今いま、あなたところの所きへ来なて、あなたなかのこころすの中すに住なんでくださいます。そして、いつまいでもイエスさ  
まといっしょいに生いきるいことができますよ。

もし、あなたが、これがほんとうだしんと信かみじるなら、神いさまにこう言いってください。

あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛あいする神かみさま、私わたしは、あなたが神かみさまと信しんじます。あなたは人ひととなり、私わたしたちの罪つみのために亡なくなって  
くださいました。そして、よみがえって、いま生いきて  
いらっしゃいます。どうか、私わたしのこころなかの中きにつみ来つみて、罪つみをゆるしてください。それで、私わたしは今いま、あたら  
しい命いのちをいただけいます。そして、いつか、あなたところの所いへ行いき、いつまこでもあなたいといっしょいにいること  
ができるのです。あなたこにしたがえいますよう、あなたいの子ことして生いきるいことができますよう、たすけて  
ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書せいしょをよみ、神かみさまとおはなししましふくいんしょょう！ヨハネによる福音書3：16

